



Vol.1 2024.9.2

まつもと まさる
代表取締役 松本 勝

幼

いときからビップ株式会社で働く人たちと共に過ごし、その仕事を身近に感じてきた松本社長。若くして経営のバトンを引き継ぎ、厳しい時代の中でも会社を成長させてきました。松本社長の歩んできた道を振り返り、会社、そして社員たちへの熱い思いに迫ります！

若手時代、前社長であるお父様や会社に対してどのような思いがありましたか。

父は過去の経験から、「社会に馴染めなかった青年たちを更生させたい」という気持ちが強く、仲間として迎え入れた社員を本当に大切にしていました。仕事を教える一方で、自宅兼下宿先では生活の面倒を見るなど、家族同然の付き合い方をしていました。

そのため、私も小さい頃から社員の人たちと一緒に過ごすのが当たり前の生活。面白い人たちがばかりで、いつか共に働きたいと考えていたものです。

鉄筋工としてのキャリアの

スタートは16歳。高校を中退し、半年ほど経った頃にこのままではいけないと思い、父に「自分を使ってくれ」と頼み込んだのがはじまりでした。最初は、とにかく怒られてばかり。ときには理不尽なこともありました(笑)

今でも思い出すのが、まだ仕事に慣れ始めた頃、パンクした一輪車に材料を大量に積んで運べと指示されたことです(笑) 全力で押してもびくともしない一輪車を前に困っていると、しびれを切らした父がやって来て「なんで動かせないんだ？ 見ている、こうやるんだ！」と、声を荒らげながら手本を見せようとしてくれました。しかし人力では到底動かせない重量だったので、当然動かさず。そのときの気まずそうな父の顔は、今でもよく覚えています(笑)

当時は思い返すと、教育と呼ぶにはあまりにも物騒だったかもしれません。現代の社会とはまた違った良さがあったと思います。共に働く社員とは「会社」という垣根を超えた関係を築く、そんな父の意思が私のルーツになっているのかもしれない。

社長就任後、 最も大変だった 時期はいつですか。

私が社長に就任したのは、21歳のとき。実はその当時は経営が苦しくなっていた時期で、交代直後は会社の立て直しを考えなくてはなりませんでした。とはいえ、まだ入社して4年ほどしか経っていない上、同業他社の社長たちは強面の人ばかり(笑)そこに飛び込んでいくのは、かなり緊張しました。右も左もわからない私の支えになってくれたのが、両親や社員



たちの存在です。

これまでで最もつらかった時期は、リーマン・ショックのときですね。一貫管理で最高品質を提供したいというこだわりから、外注はせず、すべての工程を自社社員で賄うのがビップのスタイルです。その分抱える社員数が多く、仕事が減り続ける中で皆さんの給与を確保するには、本当に頭を悩ませました。まずは自分や親族の分を抑え、それでも回らなくなってきたときに、断腸の思いで社員の給与を1割減らすことに。「必ず戻す」という約束で頭を下げてお願いしました。一年半ほど経った頃には無事に業績が回復し、給与の水準も元通りに。当時、同業他社の多くが倒産の憂き目にあいました。苦しい経験でしたが、踏ん張ることができた結果が今につながっていると感じています。

ビップの良さや強みは どこにあると お考えでしょうか。

最高レベルの技術者が、担当工事をトータルで管理していることです。ビップは創業から外注は

せず、自社でイチから工事を完了させることを続けています。そのこだわりは、品質保証の他、各工程を他人ごとにせず、「自分がやらなければならない」という責任感の醸成に大きく影響しています。これまで共に現場に出ている社員はもちろん、その社員を募って入社してくれた社員にも受け継がれ、プロフェッショナルな組織を作り上げていると自負しています！

最後に、今後の展望を お願いします。

社員の皆さんは非常に頼もしく、安心して現場を任せることができます。今後はそれぞれが身につけたスキルをビップの強みとして、さらにお客様のお役に立つことを目標としていきます。父の教えに「この業界では、大きくなりすぎた会社は衰退していく」というものがあります。目が届かなくなったり、思いを伝え切れなくなったりすれば、その会社らしさというものは失われてしまうもの。社員の皆さんに「仕事が面白い」と感じてもらいながら、一体感を意識してほしいです。



父は「世のため、人のためになれ」とよく言っていました。極論、大切なのは売り上げではありません。お金ばかりを大切にしているのは、つまらなくなってしまう。品質や安全に対する意識の向上、現場をうまく管理する方法、社員の皆さんにはそこに面白さを感じてほしいですね。プロフェッショナルを極めていけば、自ずと売り上げもついてきますから！

社員の皆さんに対しては、「言葉では伝え切れないほど感謝している」と語った松本社長。これまでつないできた縁を胸に、今日も力強く新たな挑戦への一步を踏み出します。

ビップ期待の新人！ 新入社員を紹介します

入社したばかりのフレッシュなお二人を紹介します！趣味や意気込みなど、共通点がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この記事をきっかけに、ぜひ仲良くなってください！

皆さんよろしくお願ひします！

鉄筋事業部

いとう たいじ

伊藤 泰司さん



出身地 静岡県磐田市

趣味・特技 バイク、農業など

これまでの経験

前職は、運送会社で大型ドライバーをしていました。関東から関西まで一般貨物を配送していました。九州や東北など遠方にも行っていたことがあり、様々な県に移動していたため、運転には自信があります！

自分を一言で表すと？

マイペースでコツコツ！

与えられたミッションや思いついたことを、一つ一つこなしていくタイプです。終わったときの達成感を生きがいに感じます！コツコツ・マイペースが好きです。

入社理由・決め手

1番の決め手は、働きやすい環境にするために配慮してくださっていると感じたことです。「現場仕事のイメージを変えていこう！」という雰囲気や、面接を通じて感じました。可能性がある素晴らしい会社だと思いました。前職で働いていた大型ドライバーとしてのスキルを活かせることもあり、入社を決めました。



今後の意気込み

移動式クレーンを操縦することは初めてですが、業務に早く慣れたいです。前職の経験を活かして、戦力になりたいと思います！

精一杯頑張ります!



鉄筋事業部

おおむら たくむ

大村 拓夢さん

出身地 **静岡県磐田市**

趣味・特技 **サッカー**

これまでの経験

大学卒業後は科学を研究。視点を変えることや物事の考え方を学ぶことができたと思います!その後、半年間ほど北海道を旅しながら農業をしていました。農業ではコミュニケーションの大切さとともに「身体が資本だ」ということを実感しました……!

自分を一言で表すと?

結果主義

私は結果にこだわって仕事をしています!いくら努力しても結果が付いてこないと納得できないタイプです。仕事だけではなく、生きる上で大切にしています!

入社理由・決め手

面接時に社長はじめ大森さんが、私の趣味やこれから将来でやりたいことに対して真剣に話を聞いてくれたことです!仕事で困ったときなども、皆さんであれば真剣に自分の話を聞いてくれるのではないかと心強く思いました。

今後の意気込み

私はまだ、言われたこともなかなかうまくできないことが多々あります。しかし、先輩達は私を見捨てずに、アドバイスや勇気をくれます。さらに「頭の回転が早いね」など良いところを見つけ褒めてくれます……!このような長所を伸ばして、自分の強みを活かしていきたいと思えます。



新入り

新しいトラックを 納車しました!

これからともに頑張ってくれる新しいトラックをご紹介!
このびかびかでカッコいい車体.....これからの運転が楽しみです!



新たな仲間は新入社員だけではありません!
前任トラックが長いこと頑張ってくれたので、
寂しい気持ちもありますが心機一転がんばります!

ヒノ プロフィア

納車日：2024年2月9日
使用用途：鉄筋製品運送

スケートが
できたりなほどの
輝き...



新たな仲間と一緒に
「はい、チーズ!」



乗り心地も
ばっちり...



すっほり
収まりました。



君も今日から
仲間入りだ!

前任トラックのスーパーグレート!

今まで沢山頑張ってくれてありがとう.....!
一緒に旅をしてくれたこと、忘れないよ.....!





社内報



ボイス

Voice

発行のお知らせ

この度社内報「Voice」の創刊が決定しました!これを機に皆さんの交流を深め、社内のつながりをより強固なものにしていくことを目指します!

社内報発行の目的

①ビップの魅力を発信!

ビップならではの取り組みやこだわりを掲載することで、魅力をどんどん伝えていきます!また、なかなか気づきづらい、皆さん自身の素敵なのところも、発掘できればと思います。

②コミュニケーションを活性化!

皆さんの業務姿勢や取り組み、人柄を発信します。「こんな仲間と一緒に働いている!」という新たな発見をお届けします!



私が担当します!

おおもり し おん
大森 詩音さん

目指す社内報の姿はこれ!

当社が仕掛ける一風変わった取り組みやユーモアなプロジェクトを楽しく発信し、手に取っていただいた皆さんが笑顔になる内容にしたいと思っています。

日々の業務だけではなかなか知ることができない、社員のみなさんのアツい想いや意外な一面にフォーカスを当て、一人ひとりの魅力をお届けしたい!!これからはじまる『Voice』をどうぞお楽しみに!

大森さんからメッセージ

取材やアンケートなどの依頼をすることもあるかと思います。ぜひご協力いただけると幸いです!こんな企画してほしい、あの人の紹介がみたい、など意見があれば、いつでもご連絡ください!

感想アンケート

創刊号を読んだ感想や、企画のリクエストなど、ご意見をお待ちしております!

